

会 告

去る六月二十五日に開催されました理事会・評議員会におきまして左記の事項が可決、承認されましたのでご報告申し上げます。

記

- 一、平成二十年度決算報告
- 一、平成二十一年度予算案
- 一、役員交代

1. 退任

常務理事

理事

評議員

南川高志(↓理事)、
小野澤透(↓評議員)
島田真杉、山田誠、
山中一郎、
吉本道雅(↓常務理事)、
江田憲治(↓理事)、
小方登(↓理事)、
岡村秀典(↓理事)、
谷川穰(↓常務理事)、
横山良、
吉川真司(↓理事)、
水本邦彦、若尾祐司、
吉本道雅、堀内隆行、
山口育人
庶務委員
石田俊、丹治美玲、
南雲泰輔、稲畑航平、
井上治、南都奈緒子

2. 新任

常務理事

理事

評議員

編集委員

庶務委員

吉本道雅、谷川穰
江田憲治、小方登、
岡村秀典、南川高志、
吉川真司
池内敏、上島享、
大津留厚、小野澤透、
金澤周作、和田光弘、
高嶋航、佐野光直、
富永望
上野大輔、野口優、
山本章子、河野正訓、
小野容照、網島聖

一、会則の改正

総会での承認をまつて誌面に掲載
します。

編 集 後 記

九二巻四号をお届けします。編集の号担当は責任重大な仕事であります。編集の号の論考を一番に通読できるといふ特権があります。歴史地理学を専門とする私にとつて、本号に地理学の論考がなかったのは多少残念なことではありましたが、本研究対象の時代も場所もまったく異なる優れた諸論考の読者第一号になれたのは大変幸せな

ことでした。他分野の議論というのは、本
当に勉強になります。

会員の皆様からの投稿によつて成り立っている『史林』は、本号のように多岐の分野の論考が載るような場合も、また図らずも特定の分野の論考が集まるような場合もあります。次号はどのような内容になるのでしょうか。本号を読み終えた皆様、次号完成までしばらくお待ちくださいませ。(上杉和央)

◆史学研究会ホームページ・アドレス

<http://www.soc.ni.ac.jp/shr/index.html>

本誌には独立行政法人日本学術振興会
平成二十一年度科学研究費補助金(研究
成果公開促進費)が交付されております。

二〇〇九年七月二五日印刷
二〇〇九年七月三二日発行 定価一、二〇〇円

史 林 第九二巻第四号(連巻第四七六号)

京都市左京区吉田本町京都大学大学院文学研究科内

電話 (〇七五) 七五三、二七八七
FAX (〇七五) 七五三、二七八七

発行人

史 学 研 究 会

振替京都 〇一〇七〇二一五五番
理事長 藤 井 讓 治

印刷所

中村印刷株式会社
京都市南区上鳥羽藤田二丁目